

(別紙様式)

平成29年度学校評価の実施状況等調査

学校名	県立那覇西高等学校
記記者名	福里修作

1 自己評価を実施した人数

	校長	教頭	事務長	教諭	事務	その他	計
実施人数	1	2	1	63	3	0	70

※その他 ()

2 学校関係者評価を実施した人数

	学校評議員	PTA役員	その他				計
実施人数	4	2	0				6

※その他 ()

3 外部アンケート等を実施した人数

	保護者	生徒	その他				計
実施人数	102	801	0				903

※その他 ()

4 学校評価結果の公表方法等(該当項目に○、複数回答可)

自己評価	<input checked="" type="checkbox"/> ホームページ	<input checked="" type="checkbox"/> ②学校便り	<input type="checkbox"/> ③保護者への説明会	<input checked="" type="checkbox"/> ④その他	学校評議員会
学校関係者評価	<input checked="" type="checkbox"/> ホームページ	<input checked="" type="checkbox"/> ②学校便り	<input type="checkbox"/> ③保護者への説明会	<input checked="" type="checkbox"/> ④その他	学校評議員会

5 平成28年度の学校評価を踏まえ、平成29年度改善した点(いじめ問題に関すること等)

・88.7%の教員が「分かる授業」を実践しているというのに対して、生徒、保護者の評価は60%~50%程度であった。本年度は協働学習およびICT導入で授業改善を行った。
・いじめや暴力防止の指導については、76.1%の教員ができていると回答しており、その数値の低さが課題であったが、本年度は81.71%の教員が「徹底した指導が行われている」と回答している。
・教員による清掃の評価が50%程度だったが、清掃指導の徹底で10pt以上改善した。

6 平成29年度の学校評価で明らかになった課題

・引き続き、「分かる授業」に関して、教員と生徒・保護者との認識で差がある。
・教員・生徒ともに文武両道ではないと回答する層が50%ほどいる。
・部活動と学習との両立で課題を抱えている様子が教員・生徒の回答から伺える。
・いじめの指導に関しては生徒・保護者は「わからない」という回答が多い。
・早朝講座と学力との関係については教員・生徒は半数以上が否定的な回答をしている。

7 平成29年度の学校評価を活かした平成30年度の改善点

・協働学習の「質」を向上する授業改善の取組が必要である。
・「文」について「進路実績」を指していると思われるのでキャリア教育の見直しが必要。
・部活動の在り方について職員できちんと話し合う場を設ける必要がる。
・いじめ対策の取組について保護者に十分に周知する必要がある。
・早朝講座と学力との関係について客観的なデータをもとに示す必要がある。